



灯りまつり 実行委員を募集……………	4面
公民館 九館会まつり……………	6面
文化財特別展示 鈴木遺跡と江戸東京……………	8面



こだいらの丸ポストを巡る

ふだん、郵便物を入れる丸ポスト。何気なく見慣れている丸ポストが実は貴重なものであることを知っていますか。市内には都内で最も多い37本の丸ポストが残っています。



小平と丸ポスト

明治34年に丸い形をした鉄製のポストが考案されてから、丸ポストは長い間使われてきました。昭和45年に丸ポストの製造が中止され、次第に丸ポストは箱型のポストへと変わっていきました。市内でも、箱型ポストに変わっていく中で、丸ポストを設置している商店に意向を確認したところ、愛着のある丸ポストのままだと答えた商店が多かったそうです。そのため、市内には多くの丸ポストが残っています。



商店前の丸ポスト

丸ポストを守る

今ある丸ポストを、移設しながら保存していく動きもあります。大沼町にあるガスミュージアムでは、文明開化の時代の雰囲気がある丸ポストを設置したいと希望していました。1月31日(木)に、市内の郵便局で使われていた丸ポストがガスミュージアムへ移設されました。移設されたポストは、明治時代の風景を再現するとともに、通常の郵便ポストとしても利用されています。



トラックのクレーンでつり降りました

日本一の丸ポストがあるまち

市内に多く残された丸ポストでまちおこしをしよう、という動きが大きくなったのは平成19年のこと。丸ポストが好きな市民や商店などが力を合わせて、丸いポストのまち こだいらを象徴するものとして、日本一大きな丸ポストを製作し、平成21年10月に小平市へ寄贈しました。日本丸ポストは、ルネこだいら前に設置されていて、投かん口が高さ2.1m地点と1.44m地点の2箇所あり、通常の郵便ポストとして利用されています。



こだいら・日本丸ポスト愛好会のみなさんと日本丸ポスト(高さ2.77m)



日本丸ポストは、丸ポストの好きな市民や商店などが一緒になって作り上げました。自分で図面を手作りすることからはじめ、材料に土管や中華鍋を使ったり、取り出し口の扉が割れないように中に鉄板を入れたり、さまざまな工夫がなされています。ポストの製作自体は主に左官屋さんなどの職人の方が参加しましたが、製作費の募金に協力してくださるなど、陰で丸ポストの製作を応援し続けてくれた方たちの存在も大きな支えになりました。
こだいら・日本丸ポスト愛好会
内野三次さん

丸ポストを探してみよう

丸ポストは市内の商店の前や公園など、さまざまな場所にあります。こだいら観光まちづくり協会では、現在、市内の丸ポストの場所が分かる地図を制作しています。



仲間と一緒に丸ポストを探そう 小平丸ポストロゲイニング

2～5人のグループで、地図に示された市内の丸ポストや特定の地点を巡って得点を競います。
とき 3月10日(日) 午前10時から 9時30分受付
集合 JA東京むさし小平ファーマーズ・マーケット2階ホール
費用 チーム登録料1,000円、参加料1人500円(小・中学生200円)
定員 50チーム
※1人での参加は不可。
申込み 3月8日(金)までに、ホームページへ
HP検索 フラットナビ 小平にこないか
問合せ こだいら観光まちづくり協会(学園東町1-17-9) ☎042(312)3954



小平丸ポストロゲイニング申込みページQRコード